

学校教育目標	○すすんで学ぶ子 ○心豊かな子 ○たくましい子	ビジョン	【目指す学校像】	人も自分も大切に、みんなが輝く成隣小
			【目指す児童・生徒像】	互いを認め合い協力し合いながら課題を解決し、児童一人一人が前向きに学校生活を送っている。
			【目指す教師像】	自身の知識・技能の向上に努め、学校の実践力、「チーム成隣」としての組織力を向上させている。

領域	中期経営目標 (3年間)	短期経営目標 (1年間)	具体的方策	取組指標	評価	成果指標	評価	自己評価結果の分析	学校関係者評価	評価	次年度への改善策
確かな学力	◎主体的に学習に取り組む児童の育成する。 ・児童による目標の設定と振り返りを重視し、基礎的な知識及び技能を習得させる。 ・児童一人一人への注目と成長を支援する。 ・経験や体験を深める活動を重視する。	学習状況を把握し、「主体的・対話的で深い学び」の指導を充実させる。 質の高い個別指導・家庭学習を行う。 「昭島市立小学校ユニバーサルデザイン」を活用した日常活動や授業における指導・支援を進める。	①学習のめあての提示 ②振り返りを実施 ③ICT機器の活用	4 全ての教員が、児童が主体的な授業を行った	4	4 児童アンケート「すすんで学習」9割以上	4	学習のめあての提示や振り返りの定着ができてきた。OJT研修でタブレット端末の活用に取り組んだ。	A		ICTのより一層の推進。
				3 8割以上の教員が、児童が主体的な授業を行った		3 児童アンケート「すすんで学習」8割以上					
				2 7割の教員が、児童が主体的な授業を行った		2 児童アンケート「すすんで学習」7割以上					
豊かな心	◎互いを認め、協力し合う児童の育成する。 ・児童の言語環境を整え、人権感覚を高める。 ・互いを認め合い、物事を共に創造する体験的な活動を重視する。 ・互いに支え合う、よりよい関係を大切にした活動を重視する。	道徳科の授業を要とし、特別活動や学校行事の再考・再興をととして児童の人間力を育成する。 児童が個々のよさを発揮して成長できる学級集団・学年集団を形成する。 児童の言語環境を整え、いじめ問題の未然防止と早期解消に全職員で取り組む。	①児童に活動のねらいや目的を明確にもたせる ②事後に互いを認め合うことができる振り返りの場を設ける。	4 道徳科の特質に即した授業と特別活動や学校行事を全12学級で実施した。	4	4 児童アンケート「自己肯定感」の肯定的評価9割以上。	4	道徳科の特質に即した授業を推進し、縦割り班活動を中心とした特別活動を実施した。	A		ポストコロナに沿った特別活動や学校行事の再考と再興。
				3 道徳科の特質に即した授業と特別活動や学校行事を10学級以上で実施した。		3 児童アンケート「自己肯定感」の肯定的評価8割以上。					
				2 道徳科の特質に即した授業と特別活動や学校行事を9学級以上で実施した。		2 児童アンケート「自己肯定感」の肯定的評価7割以上。					
健やかな体	◎心身を鍛え正しい判断で行動する児童の育成する。 ・児童による目標の設定と振り返りを重視し、基礎的な知識及び技能を習得させる。 ・児童一人一人への注目と成長を支援する。 ・経験や体験を深める活動を重視する。	日常的な運動を通して体力を向上させる。 健康で安全な生活のために必要な生活習慣を身に付けさせる。 健康で安全な生活のために必要な食習慣を身に付けさせる。	①体力テスト結果分析を行い、2学期以降の体育に反映 ②休み時間や放課後の外遊びが増えるよう声掛け ①元気アップガイドブックを活用 ②健康教育を推進 ①年3回食育の授業実施 ②指導内容を保護者に伝え、児童に対する家庭での働きかけを依頼	4 全ての学級でQUテストの結果を活用した。	4	4 2回目のQUの結果で安定感のある学級が3割以上	2	安定感ある学級が8学級中1学級にとどまった。他にゆるみのある学級2、不安定な学級5であった。	B		QUテストの専門家に研修を依頼し、来年度の学級づくりの参考とする。
				3 9割以上の学級でQUテストの結果を活用した。		3 2回目のQUの結果で安定感のある学級が2割以上					
				2 8割以上の学級でQUテストの結果を活用した。		2 2回目のQUの結果で安定感のある学級が1割以上					
輝く未来	◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。 ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	外部人材を活用した学習活動を計画的に行う。 保護者ととともに児童の安全・安心に関わる指導を充実させる。 保護者と教員、保護者同士が理解を深める機会をつくる。	ゲストティーチャー(GT)を活用した積極的に招聘する。 セーフティ教室の安全指導の内容を保護者に伝え、児童に対する家庭での働きかけを依頼する。 学校公開、保護者会、PTA活動等の開催を工夫して行う。	4 全ての学級でQUテストの結果を活用した学級が8割以下だった。	3	4 社会通念上のいじめ件数の前年比2割以上の減少	1	外部講師を招いての研修は予定通り実施。いじめに関しては増えており、高学年に集中している。	C		支援員の増強、きめの細かいカウンセリングの実施、いじめ対策委員会の活用を推進、家庭地域との連携もすすめる。
				3 外部講師を招いての研修を年2回実施した。		3 社会通念上のいじめ件数の前年比1割以上の減少					
				2 外部講師を招いての研修を年1回実施した。		2 社会通念上のいじめ件数の1割以上の増加					
輝く未来	◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。 ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	外部人材を活用した学習活動を計画的に行う。 保護者ととともに児童の安全・安心に関わる指導を充実させる。 保護者と教員、保護者同士が理解を深める機会をつくる。	①体力テスト結果分析を行い、2学期以降の体育に反映 ②休み時間や放課後の外遊びが増えるよう声掛け ①元気アップガイドブックを活用 ②健康教育を推進 ①年3回食育の授業実施 ②指導内容を保護者に伝え、児童に対する家庭での働きかけを依頼	4 全12学級で実施した。	4	4 体力調査のA、B判定の児童が9割以上。	1	体力調査のA・B判定の児童は39%であった。しかし、体力調査の合計点では男子で4.6ポイント女子で1.7ポイント全国平均を上回った。	C		体力向上の取組についてもっとアピールしていく必要がある。
				3 11学級で実施した。		3 体力調査のA、B判定の児童が8割以上9割未満。					
				2 10学級で実施した。		2 体力調査のA、B判定の児童が7割以上8割未満。					
輝く未来	◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。 ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	外部人材を活用した学習活動を計画的に行う。 保護者ととともに児童の安全・安心に関わる指導を充実させる。 保護者と教員、保護者同士が理解を深める機会をつくる。	①体力テスト結果分析を行い、2学期以降の体育に反映 ②休み時間や放課後の外遊びが増えるよう声掛け ①元気アップガイドブックを活用 ②健康教育を推進 ①年3回食育の授業実施 ②指導内容を保護者に伝え、児童に対する家庭での働きかけを依頼	4 健康教育の授業を毎学期・年3回以上実施した。	4	4 グッドモーニング60分の達成率が全児童の9割以上。	3	健康教育の授業、グッドモーニング60の取組は予定通りに実施された。	B		引き続きグッドモーニング60を推進していきたい。
				3 健康教育の授業を年2回実施した。		3 グッドモーニング60分の達成率が全児童の7割以上9割未満。					
				2 健康教育の授業を年1回実施した。		2 グッドモーニング60分の達成率が全児童の5割以上7割未満。					
輝く未来	◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。 ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	外部人材を活用した学習活動を計画的に行う。 保護者ととともに児童の安全・安心に関わる指導を充実させる。 保護者と教員、保護者同士が理解を深める機会をつくる。	①体力テスト結果分析を行い、2学期以降の体育に反映 ②休み時間や放課後の外遊びが増えるよう声掛け ①元気アップガイドブックを活用 ②健康教育を推進 ①年3回食育の授業実施 ②指導内容を保護者に伝え、児童に対する家庭での働きかけを依頼	4 健康教育の授業を毎学期・年3回以上実施した。	4	4 グッドモーニング60分の達成率が全児童の5割未満。	3	計画通りに食育を推進することができた。	B		給食課と連携し、栄養士を授業に招くなどして食育授業を推進、周知にも力を入れる。
				3 11学級で実施した。		3 保護者アンケート「食育」肯定的評価7割以上					
				2 10学級で実施した。		2 保護者アンケート「食育」肯定的評価6割以上					
輝く未来	◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。 ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	外部人材を活用した学習活動を計画的に行う。 保護者ととともに児童の安全・安心に関わる指導を充実させる。 保護者と教員、保護者同士が理解を深める機会をつくる。	①体力テスト結果分析を行い、2学期以降の体育に反映 ②休み時間や放課後の外遊びが増えるよう声掛け ①元気アップガイドブックを活用 ②健康教育を推進 ①年3回食育の授業実施 ②指導内容を保護者に伝え、児童に対する家庭での働きかけを依頼	4 全12学級で実施した。	4	4 保護者アンケート「食育」肯定的評価5割未満	2	全学級で1回以上はGTを招聘できている。	B		引き続きゲストティーチャーの招聘を推進していきたい。
				3 11学級で実施した。		3 保護者アンケート「食育」肯定的評価5割以上					
				2 10学級で実施した。		2 保護者アンケート「食育」肯定的評価5割未満					
輝く未来	◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。 ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	外部人材を活用した学習活動を計画的に行う。 保護者ととともに児童の安全・安心に関わる指導を充実させる。 保護者と教員、保護者同士が理解を深める機会をつくる。	①体力テスト結果分析を行い、2学期以降の体育に反映 ②休み時間や放課後の外遊びが増えるよう声掛け ①元気アップガイドブックを活用 ②健康教育を推進 ①年3回食育の授業実施 ②指導内容を保護者に伝え、児童に対する家庭での働きかけを依頼	4 年2回以上GTを全12学級が招聘した。	1	4 学力調査「地域」肯定的回答9割以上	2	全学級でセーフティ教室を実施することができた。	B		引き続き保護者とともに児童の安全・安心に関わる指導を充実させる。
				3 年2回以上GTを11学級が招聘した。		3 学力調査「地域」肯定的回答8割以上					
				2 年2回以上GTを10学級が招聘した。		2 学力調査「地域」肯定的回答7割以上					
輝く未来	◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。 ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	外部人材を活用した学習活動を計画的に行う。 保護者ととともに児童の安全・安心に関わる指導を充実させる。 保護者と教員、保護者同士が理解を深める機会をつくる。	①体力テスト結果分析を行い、2学期以降の体育に反映 ②休み時間や放課後の外遊びが増えるよう声掛け ①元気アップガイドブックを活用 ②健康教育を推進 ①年3回食育の授業実施 ②指導内容を保護者に伝え、児童に対する家庭での働きかけを依頼	4 年2回以上GTを9学級以下で招聘した。	4	4 学力調査「地域」肯定的回答7割以下	2	保護者の出席については、お忙しい家庭も多く、日時や実施の仕方を考慮していく必要がある。	C		保護者出席率向上のための取組をすすめる。また、PTA休会への対応を学校運営協議会とともにすすめる。
				3 11学級で実施した。		3 保護者アンケート「安全・健康」の肯定的評価9割以上					
				2 10学級で実施した。		2 保護者アンケート「安全・健康」の肯定的評価8割以上					
輝く未来	◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。 ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	外部人材を活用した学習活動を計画的に行う。 保護者ととともに児童の安全・安心に関わる指導を充実させる。 保護者と教員、保護者同士が理解を深める機会をつくる。	①体力テスト結果分析を行い、2学期以降の体育に反映 ②休み時間や放課後の外遊びが増えるよう声掛け ①元気アップガイドブックを活用 ②健康教育を推進 ①年3回食育の授業実施 ②指導内容を保護者に伝え、児童に対する家庭での働きかけを依頼	4 全12学級で実施した。	4	4 保護者アンケート「安全・健康」の肯定的評価7割以上	2	保護者の出席については、お忙しい家庭も多く、日時や実施の仕方を考慮していく必要がある。	C		保護者出席率向上のための取組をすすめる。また、PTA休会への対応を学校運営協議会とともにすすめる。
				3 11学級で実施した。		3 保護者アンケート「安全・健康」の肯定的評価7割以上					
				2 10学級で実施した。		2 保護者アンケート「安全・健康」の肯定的評価7割未満					
輝く未来	◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。 ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	外部人材を活用した学習活動を計画的に行う。 保護者ととともに児童の安全・安心に関わる指導を充実させる。 保護者と教員、保護者同士が理解を深める機会をつくる。	①体力テスト結果分析を行い、2学期以降の体育に反映 ②休み時間や放課後の外遊びが増えるよう声掛け ①元気アップガイドブックを活用 ②健康教育を推進 ①年3回食育の授業実施 ②指導内容を保護者に伝え、児童に対する家庭での働きかけを依頼	4 学校行事と10個のPTA活動を実施	4	4 保護者(家庭数)出席9割以上	2	保護者の出席については、お忙しい家庭も多く、日時や実施の仕方を考慮していく必要がある。	C		保護者出席率向上のための取組をすすめる。また、PTA休会への対応を学校運営協議会とともにすすめる。
				3 学校行事と7～9個のPTA活動を実施		3 保護者(家庭数)出席7割以上9割未満					
				2 学校行事と5～7個のPTA活動の実施		2 保護者(家庭数)出席6割以上7割未満					
輝く未来	◎家庭・地域社会との理解を深め、地域の子供を育てる中心的な役割を果たす。 ・学校からの情報を積極的に発信する。 ・家庭や地域の声(期待・要望・批判)を活用する。 ・地域の教育資源や人材を活用する。	外部人材を活用した学習活動を計画的に行う。 保護者ととともに児童の安全・安心に関わる指導を充実させる。 保護者と教員、保護者同士が理解を深める機会をつくる。	①体力テスト結果分析を行い、2学期以降の体育に反映 ②休み時間や放課後の外遊びが増えるよう声掛け ①元気アップガイドブックを活用 ②健康教育を推進 ①年3回食育の授業実施 ②指導内容を保護者に伝え、児童に対する家庭での働きかけを依頼	4 学校行事と4個以下のPTA活動を実施	4	4 保護者(家庭数)出席6割未満	2	保護者の出席については、お忙しい家庭も多く、日時や実施の仕方を考慮していく必要がある。	C		保護者出席率向上のための取組をすすめる。また、PTA休会への対応を学校運営協議会とともにすすめる。
				3 学校行事と7～9個のPTA活動を実施		3 保護者(家庭数)出席7割以上9割未満					
				2 学校行事と5～7個のPTA活動の実施		2 保護者(家庭数)出席6割以上7割未満					